

えのき はやと
榎 勇人

Enoki Hayato



保健福祉学部 理学療法学科 教授

研究者略歴

○生年月	1974年12月
○学歴	土佐リハビリテーションカレッジ 理学療法学科卒業(1997.3) 大学評価・学位授与機構により修士取得(2004.3) 高知大学大学院医学系研究科修士課程修了(2006.3)
○学位	保健衛生学士(学位授与機構/2004.3) 医科学修士(高知大学/2006.3)
○主な職歴	高知県農協総合病院(現:JA高知病院)(1997.4) 高知大学医学部附属病院リハビリテーション部(2000.4) 高知大学医学部附属病院リハビリテーション部 技士長(2012.5) 高知大学医学部附属病院リハビリテーション部 副部長(2013.4) 河原医療福祉専門学校 非常勤講師(2011) 土佐リハビリテーションカレッジ 非常勤講師(2011-)
○専門分野	運動学 運動力学 運動学習
○所属学会	日本理学療法士協会 日本運動器科学会 日本リハビリテーション医学会 中国四国リハビリテーション地方会
○担当授業科目	理学療法評価学Ⅰ スポーツ障害理学療法実習 理学療法基礎セミナー 理学療法研究セミナー
○現在の研究	歩行の基礎に関する研究(高齢者の体幹姿勢や脊柱可動性と歩行の関係性 など)

主な業績

○主な学会 ・社会活動等	① 高知県理学療法士協会 学術部副部長(2004.4-2013.6) ② 高知県理学療法士協会 中央東区長(2006.4-2013.3) ③ 四国理学療法士学会 評議委員(2006.3-2014.3) ④ 高知県理学療法士協会 会員区活動部副部長(2011.4-2013.5) ⑤ 国立大学病院リハビリテーション療法士学会 理事(2009.4-2014.3) ⑥ 高知県理学療法士協会 理事(2013.6-2014.3) ⑦ 愛媛県理学療法士会第3回一般研修会講師(2012.10)
○主な研究論文 ・著書等	① 骨・関節系理学療法実践マニュアル「頸椎捻挫」(pp.269-276),「頸椎椎間板ヘルニア」(pp.346-354),「変形性頸椎症」(pp.368-380).編者:鶴見隆正,石井美和子,石井慎一郎.文光堂.2006.5 ② 極める変形性膝関節症の理学療法「ミニレクチャー:歩行練習のコツ」(pp.164-166).編集:齊藤秀之,加藤浩,山田英司.文光堂.2014.5 ③ Jerk-Costを用いた無意識的運動制御量の評価.榎 勇人,山本昌樹,野村卓生,山本博司,川上照彦,石田健司.国立大学理学療法士学会誌,第22巻,pp.20-23,2000.9 ④ 高知県における遠隔地リハビリテーション診療への計画—双方向リアルタイム通信及び高精彩動画通信システムを用いて—.榎 勇人,石田健司,谷 俊一,宮崎達三,清水明宏.リハビリテーションネットワーク研究,第1巻,1号,pp.47-52,2003 ⑤ A subclinical impairment of ventilatory function in cervical spondylotic myelopathy.Nomura T, Tani T, Kitaoka K, Enoki H, Ishida K.Arch Phys Med Rehabil85(7),pp.1210-1211,2004.7 ⑥ 圧迫性脊髄症の癒性歩行評価の検討—歩行開始時の足の出にくさ(Initial clumsiness)の評価—.榎 勇人,谷 俊一,石田健司,谷口慎一郎,武政龍一,永野靖典.西日本脊椎研究会誌,第35巻,1号,pp.12-16,2009.6 ⑦ Maximum voluntary ventilation as a sensitive measure to monitor the ventilatory function in cervical spondylotic myelopathy.T Nomura, T Tani, M Ikeuchi, T Akutagawa, H Enoki and K Ishida.Spinal Cord(50),pp.328-332,2012.1